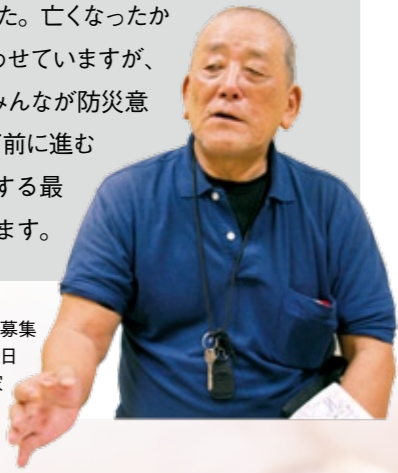


宮城へ 思いを一つに力を合わせて前へ
ボランティア 渡邊 富久男 さん(伊方)

震 災直後にボランティアの募集を知り、すぐに駆けつけたかったのですが都合がつかず、5月にやっと支援に向かうことができました。1500km離れているので、実際に何かしたくてもできない無力さを感じている人は多いと思います。ただ、現地に行けなくてもできることはあるはず。わたしは71年生きてきて、今回改めて自然の怖さを体感しました。亡くなったかたには今も毎日手を合わせていますが、失われた命を教訓に、みんなが防災意識を高め、力を合わせて前に進むことが、日本を元気にする最大の支援だと思っています。



わたなべ・ふくお ● ボランティア募集を新聞で見かけ、5月5日から3日間、1人で宮城県気仙沼市へ。家の土砂の撤去などを行った。

宮城へ 共助の心で地域への継続支援
田川青年会議所 藤春 秀徳 理事長(神崎)

「青 年会議所で支援をやりよう」とわたしが持ち出した時、まだ黄金浜という地域を知りませんでした。今回縁あって黄金浜の人たちと接し、「東北が困っているのではなく、そこに暮らす人が困っている」のだと強く感じました。復興までの長い年月、わたしたちはこの黄金浜という地域を継続して支援していきたいと思っています。現在は「黄金浜スマイル募金」や物資を集める「黄金浜500プロジェクト」などを推進。みなさんを巻き込んで黄金浜とかかわっていくことで、困っている人に手を差し伸べるような共助の心を、田川で育んでいきたいと思っています。



ふじはる・ひでのり ● 田川青年会議所などのメンバー13人で宮城県石巻市へ。5月14日の昼に黄金浜会館で、田川のホルモンどんぶり500食を振る舞った。

宮城へ 東北で感じ、得たこと。-被災地の教訓- 復興支援の職員派遣で活動した3人
福智町役場 仲村 和宏 主任主事・松村 俊明 主任主事・山本 太地 主事

東 松島市で主に支援金の受付などを行いました。被災した方々は疲れた様子でしたが、不平不満も口にせず冷静に行動され、日ごろの防災意識の高さを感じました。被災地で特に印象に残ったのが、助け合いの「共助意識」です。支援を「自分に」と主張するのではなく、「自分が」と、被災者が他の支援を行う姿が忘れられません(仲村).....

被 災地の状況は報道で把握していましたが、実際の現地は、現実として受け止められないほどの惨状でした。それでも被災者の皆さんは次の生活に向け、手を携えて前に進んでいました。被災地では電話相談を担当。連日悲痛な事

情を聞き、それにお応えするため、数々の支援制度を学び、伝えました。私たちは東北の教訓を無にせず、想定外を予期して防災に努めなければならないと強く感じました(松村).....

見 渡す限りがれきの被災地で、避難所への物資運搬作業などにあたりました。現地のスタッフには、大切な家族を失った人も多くいましたが、気丈に明るく対応していました。災害時に最も頼られるのが身近な役場であり、その対応や危機管理、防災に対する平時の備えの大切さを体感しました(山本)



㊤ なかむら・かずひろ ● 「東日本大震災被災地支援行政機能支援チーム」の福岡県・市町村合同第1陣(4月27日から9日間)と/㊦ まつむら・としあき ● 同じく第8陣(6月8日から9日間)として、宮城県東松島市で行政業務に従事。

㊧ やまもと・たいち ● 自治労復興支援第7グループとして、5月21日から9日間、気仙沼市で行政業務に従事。



田川から東北へ
広がる支援の輪

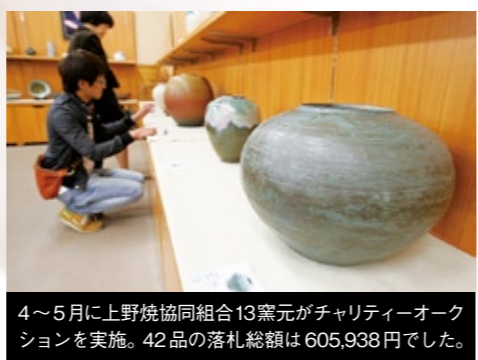
いま、東日本大震災でこの地へ避難・移住している人がいる。一方で、こちらから被災地へ赴き、命懸けで活動する人がいる。今後も、継続と広がりが求められていく「支援」と「共助」の輪。この町は、復興に臨む日本というチームの一員としてつながっている。

東日本大震災被災地への義援金
ご協力ありがとうございます。
5月末現在 総額..... **12,910,271円**

- 町に義援金を寄託された団体一覧** (順不同・名称は届出のとおり)
- 赤池 16区 2高尾団地 / 赤池 10区 / 市場小学童クラブ保護者会 / 勝寿苑 / 福智町歩こう会 / フラダンス赤池教室 / 伏原公民館 / 伏原公民館5組 / 赤池 27区 公民館 / 桜ニュータウン / 運動推進員赤池「さくらキララ」会 / 赤池 2区 堀田 / 金田 4区 老人会 / 赤池学園 / 泰成工務店 / 神崎笹尾公民館 / 藤食糧 / 金田本町 2丁目組 / 南木行政区 / 方城 28区 / 全日本同和会福智連絡協議会 / 緑ヶ丘ニュータウン隣組 / 方城 14区 / 福智町女性消防隊 / ハービス / 食進会方城支部 / 方城 30区 / 方城 31区 / 方城 32区 / 方城 22区 / 方城 6区 / 方城 26区 / 方城 2区 / 方城 12区 / 方城 15区上・中組 / 星ヶ丘団地 / 金田 7-2区 / 方城 19区 / 方城 18区 / 方城 20区 / 方城 23区 / 赤池 14区 / 方城 1区 / 金田 2区 / 宝見婦人部 / 神崎地区子ども山笠実行委員会 / 福丸公民館 / 大谷開発 / 赤池 3区 (板取・上里 1・上里 2・山崎・中里・大谷) / 金田 7-1区 (飯土井・田の口・下組・中組) / 赤池 4区 / 方城 35区 / 上金田育成会 / 上金田老人会 / 上金田青年団 / 上金田郷土芸能保存会 / 方城 5区 / 崎山組 / 山栄化成 / 上野病院 / グループホームあがの / 寿楽園 / 寮育園 / 赤池 17区 / 方城 11区 / 慈恵苑互助会 / 石橋ガーデン / 赤池草場公民館 / 赤池 1区 / 方城 17区 / 方城 37区 / 方城 16区 / 中原老人会 / NN会 / 野添グラウンドゴルフ愛好会 / 伊方小学校 / 伊藤清掃 / 佃清掃 / F・T・K



4月15日に開催された「IKKOチャリティーコンサート」には500人以上が来場し、801,636円が集まりました。



4~5月に上野焼協同組合13窯元がチャリティーオークションを実施。42品の落札総額は605,938円でした。

福島へ 平穏な生活を一瞬で奪う災害
陸上自衛隊湯布院駐屯地 日吉 文乃 陸士長(神崎出身)

3 か月間、被災者のかたが早く生活を取り戻せるようにと前向きに任務を行ってきましたが、沿岸部の光景を見た時は、やはり胸が締め付けられました。電車が折れ曲がって地面にささっていたり、何も無いのに町の案内板だけが残っていたり…。足元には、幸せそうに笑う家族の写真やぬいぐるみなど、一人ひとりの大切な物が埋まっていた、「がれき」とは呼べないと感じました。ほんの数日前までは、そこにあったであろう当たり前の生活。被災するということは、それが一瞬にして奪われるということなのだとも再認識し、災害の恐ろしさを痛感しました。



ひよし・あやの ● 震災翌日に派遣要請があり、6月下旬までの3か月間、福島県新地町、大熊町などで救助・復旧作業を行った。今回派遣された自衛隊員の中では最年少。

宮城へ 伝え継ぐことが減災につながる
田川地区消防本部特別救助隊 身吉 正光 小隊長

福 岡県隊では、3日間で12人のかたの遺体を収容しました。「一人でも多くの生存者を発見したい」という思いで捜索していましたが、残念ながら生存者を見つけることはできませんでした。自然の猛威の前に、人間にできることは限られています。だからこそ被害を最小限に食い止める「減災」を、一人ひとりが行うことの重要性を考えさせられました。災害経験が少なく、危機感が希薄化しがちな田川地区。みなさんの意識を高めるためにも、今、この災害を伝えていく義務を感じています。



みよし・まさみつ ● 3月14日に出勤要請があり「緊急消防援助隊 福岡県隊」として、田川地区消防本部から5人が出動。宮城県山元町で救助・捜索作業を3日間行った。